

連合救援ボランティアレポート

第 27 号
2011 年 6 月 2 日

| 1

ボランティアに汗を流した仲間へ感謝 連合中央委員会で古賀会長

2 日、東京都内で連合の第 60 回中央委員会が開催されました。古賀会長は、冒頭あいさつの中で連合の救援ボランティア活動について報告し、参加した組合員、各構成組織、地方連合会の協力に対して感謝の意を述べました。

■継続的・大規模な派遣 連合だからこそ

古賀会長は、「3 月 31 日に第 1 陣を送り出して以降、毎週 300 名規模のボランティアを切れ目なく派遣してきた。現在まで約 2,300 名、延べ約 15,000 名の仲間が被災地での活動に汗を流している。このように大規模に継続してボランティアを派遣している民間組織は連合を置いて他になく、誠実で規律ある活動に対して、地元ボランティアセンターや被災した方々から評価と信頼を得ている」と報告しました。

その上で古賀会長は、「被災者に寄り添いながら献身的に活動を展開している参加者の皆さん、ボランティア派遣に対する構成組織・地方連合会の支援・協力に心からの敬意を表する」と述べるとともに、今後とも、変化する現地のニーズを的確に判断しつつ、被災地の復旧・復興につながる救援・支援を継続すると述べました。

＝被災地からも感謝のメッセージ届く＝

中央委員会には、連合がボランティア派遣を行った地域のうち、岩手県の達増知事、宮城県石巻市の亀山市長、福島県南相馬市の桜井市長からメッセージが寄せられました（次ページ参照）。メッセージには、この間のボランティア活動に対する謝意と引き続きの支援要請、そして復興に向けた決意が込められています。

活動レポート

●福島拠点

【6 / 1】南相馬市内で公道の側溝からの泥出し作業を実施（写真左：作業中 中：作業後）。
新地町では被災者宅の片づけ作業を実施（写真右）



◆各自治体からのメッセージ◆

(上から岩手県達増知事、石巻市亀山市長、南相馬市桜井市長)

2011年6月1日

日本労働組合総連合会
会長 古賀 伸明 様

岩手県知事
達 増 拓 也

「東日本大震災復興に向けてのご支援」のお礼と引き続きの支援について

貴組織の活動に敬意を表します。

平成23年3月11日午後2時46分に発生した「東日本大震災」により、想像を絶する甚大な被害が発生しました。この未曾有の大震災により、本県をはじめ東日本を中心に大きな被害と多くの人命が奪われるなど、私たち県民の生活は一瞬で失われました。

この間、日本労働組合総連合会の皆様には、激励、義援物資、義援金、さらには延べ5,800人を越えるボランティア活動等々、多くのご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

今後に向けては、国、市町村、関係団体、県民など、あらゆる方々との連携を図り復興に向けて邁進していきます。

今後とも当県に対しまして、積極的なボランティア活動をはじめ引き続きのご支援をお願いいたします。

連合「災害救援ボランティア」活動へのメッセージ

平成23年3月11日は、午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震、その後に襲来した巨大な津波が石巻市を容赦なく襲い、私たちは平和な生活を一瞬にして失うこととなり、私たちにとっては忘れられない日となりました。

襲い来る巨大津波は、数千人の尊い市民の命を奪い、そして、私たちの住まいや働く場、道路や港湾、漁港など多くの財産を呑み込みました。この災害の跡に残ったものは、覆い尽くさんばかりの瓦礫の山、家族・友人を失った深い悲しみであり、市街地や集落は直視しがたいものに変貌しました。

そのような中、震災後、自衛隊や国・県をはじめ、全国の企業や自治体、ボランティアの方々など多くの支援をいただき、再建に向けた第一歩を踏み出しました。とりわけ、日本労働組合総連合会（連合）の皆様には、4月3日の「災害救援ボランティア」活動開始から述べ700人に渡り、継続した活動をいただいていますことに、深く感謝を申し上げます。

本市の復興につきましては、市単独ではなく、国、県、他の地方自治体、市民、NPO、地域などあらゆる主体が対等の立場で協力する仕組みを構築し社会全体に広げ、共鳴現象を起こす必要があります。単に復旧・再生を目指すのではなく、既存の資源を活かしつつ、新エネルギー、環境、観光などを新たな柱とする産業創出や、災害に強いまちづくりの展開など快適で暮らしやすい「あたらしい石巻市」を創造していきます。

今後とも、当市に対する継続的なボランティア活動を展開していただきますとともに、ボランティア活動を通じての被災した人たちとコミュニティの形成をいただくなど、引き続きのご支援をお願いいたします。

平成23年6月2日

石巻市長 亀 山 紘

23 防第 264 号
平成23年 5月30日

日本労働組合総連合会
会長 古賀 伸明 様

南相馬市長 桜井 勝 延



ボランティア活動のお礼と引き続きの支援について

平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災において被災した当市に対し、平成23年5月19日から瓦礫撤去を中心に毎日全国から20人もの貴会の組合員を派遣いただき、ボランティア活動を行っていただいていることに深く感謝申し上げます。

当市の復興につきましては、福島第一原子力発電所の事故もあり、今後長い道のりと予想しておりますが、皆様からの多くのご協力で、毎日着実に前進しているものと感じております。

今後とも、引き続き当市に対しボランティア派遣等のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

